

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	国立病院機構東長野病院 通園ルームのぞみ		
○保護者評価実施期間	令和 8年 1月 20日		～ 令和 8年 3月 2日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 20日		～ 令和 8年 3月 2日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数) 10名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 3月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	生活空間はこどもにわかりやすく構造化された環境になっていますか。また事業所の設備等は障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているについて	新築のため、生活空間は清潔で心地よく過ごせる環境になっています。またバリアフリーになっているので、段差などが無く、通所の入り口から活動場所や浴室まで移動しやすく配慮されています。浴室は広々としており、ミスト浴ができます。個々のスペースが必要な場合はパーテーションを利用してスペースを確保しています。	段差などが無く、通所の入り口から活動場所、浴室まで移動しやすく配慮されています。浴室は広々としており、ミスト浴ができます。個々のスペースが必要な場合はパーテーションを利用してスペースを確保しています。
2	日頃からこどもの状況を保護者と伝えあい、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っていますか。	個々の連絡帳を利用してご自宅での体調確認及びご様子と通所での生活や活動の様子をお伝えして、情報共有をしています。またお便りを発行して、行事や活動の様子などもわかりやすくご家族へお伝えしています。	引き続き、連絡帳やお便りの内容を充実させていく予定です。またご本人とご家族の皆様が安心してご利用できるように職員一同、努力してまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用定員やこどもの状態等に対して職員の配置数は適切であるか。職員(保育士等)の人数がギリギリである。	職員の募集をしていますが、なかなか応募がないのが、現状です。職員(保育士等)の人数がギリギリであるため、なかなか休暇の取得や研修会への参加が難しいです。	引き続き職員(保育士等)の募集を継続していきます。
2	研修会が少ないように思います。	全職員を対象とした障害者虐待防止と身体抑制適正化の研修会や医療安全の研修会などに複数回参加しています。また生活介護、放課後等デイサービス事業所を対象とした研修会へも希望者が参加しています。	行政等が主催する研修会にも積極的に参加できるよう、職員の協力体制を整えていきます。
3	地域の児童館等を利用している児童との交流や連携を図ることについて	利用者様の対象が重症心身障害児(者)の方であるため、体調の状況、医療的ケアや感染対策の必要があります。地域の児童の皆さんとの交流を図ることは難しい現状です。	地域の事業所との情報共有や連携を充実させていくことが、今後も大切だと思われます。